

UGSAS-GU NEWSLETTER

岐阜大学大学院連合農学研究科

2019年1月～12月

第7回 国際会議 (10月8日)

International Roundtable Meeting

岐阜大学大学院連合農学研究科(博士課程)は、南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム加盟校(=IC-GU12, 日本を含む南部アジア地域9カ国20大学)による「The 7th UGSAS-GU Roundtable Meeting」(第7回農学系博士教育国際連携円卓会議)を開催しました。加盟校のうち、対象大学である7大学のリエゾン教員等20名の出席のもと、「ダブルPhDディグリープログラム」の進捗状況と課題、海外の加盟校に設置している本研究科との「共同実験室」の現状報告と今後の計画についての総合討論が行われました。



The 7th Roundtable

NEWSLETTER(電子版)

第8号発行にあたり

岐阜大学大学院連合農学研究科(UGSAS, GU) 修了生、在学生、教員の皆様、本研究科では昨年も色々な新しい取り組みを行い、大きな進展がありました。まず、4月には国際連携食品科学技術専攻が発足しインド工科大学グワハティ校(IITG)とのジョイント・ディグリー・プログラムが開始し、IITGをホーム校とする2名の学生が入学しました。さらに、本年度は本学が創立70周年を迎えることから記念事業として3つのイベントを企画しました。まず、10月9日と10日には海外のアカデミアで活躍する本研究科修了生の若手研究者を中心として、食品科学に関する国際研究シンポジウム「The International Symposium on a New Era in Food Science and Technology 2019」を本学連合大学院棟において開催致しました。10月26日には、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて、一般市民を対象に「食品がつくる環境と環境がつくる食品」をテーマとした公開講座を開催しました。11月18日～19日にはインドネシアのガジャマダ大学において、スプラス・マレット大学、ガジャマダ大学、インドネシア環境保護協会との共催で「Climate Change: The Risk to Sustainability and Environmental Issues」と題した国際シンポジウムを開催し、本学の若手教員・学生と海外で活躍する本研究科修了生との研究交流を通じて、研究ネットワークの構築に努めました。本号では、このような特色のある活動を国内外で活躍する皆様にご紹介致します。本研究科のグローバル化に向けた新しい展開に対して貴重なご意見を頂ければ幸いです。

岐阜大学大学院連合農学研究科長



千家正照

第10回 国際シンポジウム (10月9・10日)

A New Era in Food Science and Technology

本学連合大学院棟において、2日間延べ147名の参加のもと、新時代における食品科学技術をテーマに国内外の研究者4名(櫻井望准教授・国立遺伝学研究所, Shirley C. AGRUPIS学長・マリアノ・マルコス州立大学・フィリピン, Utpal Bora教授・インド工科大学グワハティ校・インド, Mohamad Yusof Maskat准教授・マレーシア国立大学・マレーシア)の基調講演及び本学修了生を含む研究者15名の研究発表が行われ、活発な研究討論を行いました。



The 10th International Symposium

10日午後より本学の流域水環境リーダー育成プログラム及び今年度から本研究科と共同専攻を開始したインド工科大学グワハティ校と共催にて、参加者51名のもと、学生34名によるポスターセッションが行われ、優秀発表学生7名にポスター賞が授与されました。

今回は本学70周年記念イベントの一環として、本学グローバル推進機構主催の「岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム2019」を7日・8日に開催、工学部主催の「The 4th International Joint Meeting of Advanced Global Program in Conjunction」を本研究科と連動して同日程にて開催し、ワシントン大学のゲーリーD.クリスチャン教授による特別講演が行われました。

国際シンポジウムポスター賞受賞者

RAJ KISHAN AGRAHARI: D3
Hiroto Yamashita: D2
Rachmad Adi Riyanto: D2
Neha Mulchandani: IITG
Masaya Toyoda: 水環境リーダー
Hiroki Maruyama: 水環境リーダー
Wenjiao Li: 水環境リーダー

第4回 ICCC (インドネシア : ガジャマダ大学 11月18・19日)

The 4th International Conference on Climate Change

大学院連合農学研究科

(UGSAS) は、インドネシアのスプラ
ス・マレット大学、ガジャマダ大学、イン
ドネシア環境保護協会と共催し、ガ
ジャマダ大学にて、「Climate
Change: The Risk to Sustaina-
bility and Environmental Is-
sues」と題し、第4回 International
Conference on Climate



The 4th ICCC

Change 2019(以下ICCCという)を開催しました。

本学及び研究科からは、鈴木文昭理事(国際・広報担当)、千家正昭研究科長、平松研教授、中野浩平教授、今泉文寿准教授、乃田啓吾助教、田中貴助教が参加し、千家研究科長が「Climate Change Impact on Irrigation」と題し、気候変動が灌漑に及ぼす影響をテーマとした基調講演を行いました。また、バングラデシュ農業大学(バングラデシュ)からMd. Abdul Mojid 教授、チュイロイ大学(ベトナム)からNguyen Thu Hien准教授など多数の教員を招聘し、様々な視点から気候変動の影響と対策についての講演がありました。ICCCには合計125名が出席し、参加者による活発な議論が行われました。

ICCCは今年度で4回目を迎え、気候変動が人間生活や環境問題に与える影響をモニタリングし、改善するための努力を継続して行っており、環境、農業、法律、社会、経済、文化など様々な視点から気候変動に関する課題が議論されました。

これらの成果は論文として取りまとめられ、現時点で、発表論文のうち62編が査読を終えており、1月中を目途にオンライン上で公開され、Scopusに登録される予定です。ICCCの成果が研究者、技術者による気候変動研究の発展に大きく貢献することを期待します。

連合農学研究科 学位記授与式

3月13日、9月20日に、岐阜大学講堂にて学位記授与式が挙行されました。

2019年3月～12月の学位記授与者数:

3月 14名(うち留学生10名)
6月 1名(うち留学生0名)
9月 4名(うち留学生3名)



連合農学研究科 入学式

4月12日、10月4日に、2019年入学式が挙行されました。2019年度入学者数:

4月 15名(うち留学生7名)
10月 6名(うち留学生6名)



IC-GU12ニュース

・11月19日

ムハマディア大学ジョグジャカルタ(インドネシア)にて公開講座を行いました



【受賞一覧2019】

- **Hiroto Yamashita**, Tomoki Uchida, Hideyuki Katai, Lina Kawaguchi, Atsushi J. Nagano, Akio Morita, Takashi Ikka (2019). Genetic dissection of major functional chemical components in young shoots of tea accessions. The 24th Shizuoka Forum on Health and Longevity. Poster Presentation Award.
- **山下寛人**, 片井秀幸, 川口利奈, 永野 惇, 森田明雄, 一家崇志 (2019). 高密度DNAマーカー情報を用いたチャ品種・遺伝資源の遺伝的多様性の解析. 第34回茶学術研究会講演会 学術奨励賞.
- **山下寛人**, 片井秀幸, 川口利奈, 永野 惇, 森田明雄, 一家崇志 (2019). ゲノムと表現型から探るチャの多様性とその育種応用. 第20回静岡ライフサイエンスシンポジウム 優秀ポスター賞.
- **Akash Chandela**, Yoshihito Ueno (2018). Augmented nuclease resistance and gene silencing with 3'-end modified small interfering RNAs. 06th Asian Network for Natural and Unnatural Materials (ANNUM VI). Best Poster Award.
- **Raj Kishan Agrahari**, Ayan Sadhukhan, **Yuki Nakano**, Satoshi Iuchi, Masatomo Kobayashi, Sanjib Kumar Panda, Yuriko Kobayashi, Hiroyuki Koyama (2018). Expression GWAS-An approach for understanding the ALS3 Signal Transduction Mechanism. International Symposium on Animal Production and conservation. UGSAS & BWEL joint poster session. Best Presenter Award.
- **Yolani Syaputri** (2018). Bacteriocin (protein) of Lactobacillus plantarum from Fermented Tea. 3 Minutes Speech Competition 2018, Hiroshima University. Kyowa Hakko Bio Award.
- 鈴木莉央奈, **曹 若明**, 陳 思宇, 吉竹晋平, 大塚俊之 (2018). 金華山の常緑広葉樹林における生態系純生産量の推定. 2018年度日本生態学会中部地区会.ポスター賞.
- 伊藤拓哉, 左藤寛子, 増成良介, 田中 孝, 山田雅章, **藤代 薫**, 前田研司, 長澤 正 (2018). 熱可塑性樹脂およびエラストマー系接着剤を用いたパーティクルボードの振動特性. 2018年度日本木材学会中部支部大会優秀発表賞.